

## CO2 排出量削減、省エネ対策への取り組み

災害医療センターでは CO2 排出量削減、省エネ対策の一環として 22 年度にエネルギー設備等の更新を行い、資源エネルギーの有効活用、地球温暖化防止に取り組みました。

### 【主な取り組み】

エネルギー設備は更新にあたり、国立病院としての社会性・公益性を鑑み、地球温暖化対策に向けた省エネルギー、省 CO2 効果が高いシステムへ転換しました。

空調：1) 燃焼方式を主体した熱源機器から高効率電動式熱源機器主体への更新を行い、冷暖房にかかるエネルギー消費の低減。

2) 電動式チラー（冷温水循環システム）の冷却水系統に排熱回収システムを導入し夏期における除湿再熱系統の熱源に利用することで、排熱を有効活用。減。

照明：LED型避難口誘導灯、調光式インバータ型階段通路誘導灯への更新を行い消費電力の削減。

給湯：既設ストレージタンク 2 基を蓄熱用給湯タンクへ改修し、既設蒸気給湯システムと電動式CO2ヒートポンプ給湯機を組み合わせたハイブリッド給湯システムを構築。

以上により、20 年度比で CO2 排出量は 21.9 %の減少、省エネ効果率として 16.3 %を目指しています。